



木の家だいすきの会 通信

2017年6月発行

特定非営利活動法人 木の家だいすきの会
E:Mail: office@kinoie.org
URL: http://www.kinoie.org
facebook:
http://www.facebook.com/NPO.KinoieDaisuki

■東京事務所 & 木の家づくりの相談室
〒102-0081 東京都千代田区四番町3-10 番町 MK ビル 301
TEL 03-6261-2970 / FAX 03-6261-2971
■所沢事務所
TEL 04-2937-7344

人も、家も、健康な木の家 モデルプランできました「健康に暮らすシンプルに木の家」

健康な木の家という、どんな家を思い描きますか？

私たちが考える健康な木の家は、人が健康に暮らせるとともに、家自体が健康を保ち、丈夫で長持ちする家と考えています。

2014年から3年間工学院大学、職業能力開発総合大学校などの協力を得て、開発したグリーンエア工法は、構造用合板を使わず、自然素材の心地よさを追求した木の家づくり。しかも、高耐震、高耐久、高断熱の高い住宅性能も実現させています。

そのグリーンエア工法を活用し、若い方でも手が届きやすい価格のモデルプランができました。

モデルプラン「健康に暮らすシンプルに木の家」ナント!! 2034万円～

モデルプランの間取りそのままを建てるのではなく、お客様の敷地とご要望に合わせて、設計者がプランを検討します。

詳細は、木の家だいすきの会までお問合せください。

事例の個別案内も承ります。

木の家だいすきの会までご連絡ください。

代表理事
コーディネーター
鈴木 進



理事
コーディネーター
山本幸恵



「健康に暮らすシンプルに木の家」の仕様に近いお家の完成見学会です

見学会などのご案内

完成見学会「光を上手に取り込んだ 家事ラクの木の家」

6月18日(日) 10:00～15:00 場所: 埼玉県所沢市

完成見学会「中古住宅をリノベで長寿命な木の家に」

～耐震&温熱改修&間取り変更で、次世代に住み継げる長寿命な住まいをリノベで実現～

7月22日(土) 23日(日) 10:00～15:00 場所: 東京都武蔵野市吉祥寺

コラム：設計者の目

今回は、設計事務所・アトリエ・ヌック建築事務所の勝見紀子さんのコラムです。

吹き抜け窓

住まいのつくり様で、すっかり定着してきた吹き抜け空間。一昔前は、見栄えはいいが寒いと敬遠されることが少なくありませんでした。解放感あふれる雰囲気だけでなく、採光や通風の面で有利なこと、家族空間と上階の個室をつなぐ役目があることなど、吹き抜けのよさが広く認知されるようになりました。同時に断熱性能の向上が寒さという欠点を補うようになり、吹き抜けは多くの住まいで取り入れられています。

採光や通風を期待しての吹き抜けですから、窓が大事な要素になります。光を得るために大きな窓を設けたいところですが、高い位置にあるだけに一般的な高さの窓のように扱えません。開閉や清掃には工夫が必要ですし、高窓ゆえにコールドドラフト現象への対策も講じておかなければなりません。

実例を挙げて、その工夫と対策をご紹介します。

※コールドドラフト現象：冬季、暖かい室内の空気が冷たい窓ガラスに触れて冷やされ、床面に下降する現象。



勝見 紀子



1階と同じ2間間口の掃出し窓を設置した吹き抜け。日射調整とコールドドラフト対策のため建て込んだ障子は、解体した古家のものを転用しました。窓外はベランダで、スノコのブリッジを通して出入りします。



4枚建ての引違窓を、2階寝室と吹き抜けの両方に跨るように設置しています。寝室から吹き抜けに面した引き戸を開け、手を伸ばして引違窓を開閉します。清掃時、吹き抜け側の2枚のガラス戸を寝室側に引き込めば、ガラス拭きも難く行えます。



本棚のある土間上の吹き抜け空間。上の方の本の取り出しと、吹き抜け窓の開閉及び清掃用に梯子を使っています。スタンドグラス風窓のサッシガラスは、汚れが目立たない型ガラスを使用しており、日々のガラス拭きは行いません。



室内物干し場であるスノコブリッジのある吹き抜け。ブリッジに面した方は掃出し窓で、十分な光の取り込みと共に、外物干のベランダへの出入りに利用しています。小さな方の窓は縦すべり出し方式で、下からチェーンを引いて開閉します。大きな窓にはコールドドラフト対策がやはり不可欠で、断熱性能の高いハニカム構造のスクリーンを設置しており、スノコの間より垂らしたコードで開け閉めします。



コンパクトな吹き抜けのスクエアなすべり出し窓。換気の際は、階段の踊り場から開閉します。